

(観光戦略部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
1 令和2年7月豪雨からの創造的復興 【施策1】被災者・被災地域の1日も早い復旧・復興に向けた取組み 施策1－②なりわい（生業）・産業の再生と創出	110,000	105,077	1 被災地域の更なる魅力創造事業 被災地の合意形成を図りながら、球磨川等の豊かな地域資源を活用した観光コンテンツの充実や人吉球磨地域に点在する茅葺屋根の寺社仏閣のライトアップ等、観光客の受入環境の整備や、より実効性の高いプロモーション等を実施した。	観光費のうち P321
施策1－④地域の魅力の向上と誇りの回復	43,660	43,243	1 「マンガ県くまもと」構想推進事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 人吉・球磨地域がモデル地となっているアニメ「夏目友人帳」と連携して声優を活用したPVの制作やイベントを開催するなど、県内外からの誘客・周遊促進を行った。 2 Kumaラボ（観光物産分野）先行取組運営事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 産学官の多様なプレーヤーが集まり意見交換をする場である「観光ラボ」及び「コンテンツラボ」において、新たな旅行商品や観光コンテンツ開発に向けた研究・実証等に取り組んだ。	観光費のうち P320 ～ P321
2 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応 【施策3】持続可能な経済活動の実現 施策3－②新しいビジネスの創出	83,927	77,736	1 県産農林水産物等輸出推進総合支援事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 農林水産物等の輸出拡大に向け、事業者の輸出ステージに応じた伴走型支援等、新規販路開拓や規制への対応など、輸出に取り組む県内事業者に総合的な支援を実施した。 ・県産農林水産物等の海外展開に取り組む事業者への伴走型支援（13事業者） ・事業者に対する販路開拓や規制対応に係る経費の支援（23事業者） ・JAグループの輸出展開活動（海外での販促フェア、展示商談会への参加等）を支援 ・県内事業者の海外進出を支援するため、アジア各国・地域にスポットアドバイザーを設置 【スポットアドバイザー利用可能地域】シンガポール、香港、台湾、フィリピン、タイ 2 海外輸出拡大対策事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 台湾や香港、シンガポール等において現地小売店や飲食店等と連携した県産品プロモーションを実施した。 ・台湾のDON DON DONKI や微風廣場等において県産品の熊本フェアを実施（5店舗） ・香港やシンガポールの小売店・飲食店等及び新規国で県産品のPRを展開（14回） ・マーケットインの視点で県産品を磨き上げるためにバイヤー等の招へいを実施（5回）	農業総務費のうち P238 ～ P239
施策3－③農林水産業の持続的発展	97,922	88,302	1 県産農林水産物等輸出推進総合支援事業（再掲）（P74に記載） 2 海外輸出拡大対策事業（再掲）（P74に記載）	農業総務費のうち P238 ～ P239

(観光戦略部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
(施策3－③農林水産業の持続的発展)			3 G F Pフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト事業 J Aグループ等と連携した輸出推進体制を構築するとともに、メロンやイチゴを中心に、大規模な輸出産地形成のための取組みを実施した。 ・青肉メロンから海外ニーズの高い赤肉メロンへの転換 ・輸出先国の残留農薬基準に対応したイチゴの防除暦の策定 ・輸送時のロス率低下に向けた鮮度保持技術等の検討や輸送試験の実施	農業総務費のうち P239
施策3－④新たな観光スタイルの確立	3,159,480	2,556,997	1 デジタルマーケティング事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） デジタルを活用したプロモーションにより本県観光の魅力を効果的に発信するとともに、動画やSNS等の広告配信データ等を分析し、より効率的な広告配信に活用した。 2 スマート観光交通体系構築推進事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 九州のボーダレスな地域交通ネットワークの構築に取り組む「九州M a a S」の活用を前提として、持続可能な観光交通の仕組みづくりを阿蘇地域の関係者と共同で実証を行った。 3 地域の活性化を牽引する観光産業創造事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 県が作成した地域未来投資促進基本計画に基づき承認を受けた事業者の事業計画のうち、他の事業者のモデルケースとなりうる、先進性があり高い経済的波及効果を及ぼす設備投資等への支援を実施した。（補助件数：1件） 4 くまもつ観光地域応援社発展事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 観光客の多様なニーズに対応するため、県内2地区の観光協会が取り組む着地型旅行商品の造成・販売等の受入環境の整備に対する支援を実施した。 5 スマート観光提案型システム構築事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 多数の海外の旅行会社に、各国の多様な観光ニーズに合った旅行プランをスピーディーに提案するため、デジタル技術を活用した観光ルート提案システムの構築を行った。 6 スポーツツーリズム活性化事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） スポーツ大会の開催や合宿誘致のみならず、温泉や健康との相乗効果を狙った新たなスポーツツーリズムを展開し、継続的な集客につなげた。 ・スポーツツーリズムの商品開発、ロゲイニングイベントの実施 ・サイクルツーリズムの推進のためのサイクルスタンドの設置 7 域内周遊・滞在促進のための観光地域づくり事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 観光M a a Sによる観光二次交通網の構築と組み合わせた、阿蘇地域内を効率的に行動・周遊できる観光スタイルを推進するため、観光の目的地である個々の観光資源の受入環境強化のための取組みを支援した。（補助件数：8件）	観光費のうち P320 ～ P321

(観光戦略部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
(施策3－④新たな観光スタイルの確立)			8 熊本の温泉街リブランディング事業 宿泊施設等の老朽化や旅行者の減少などにより、かつての賑わいが失われている温泉街の再生を図るため、菊池市（菊池温泉）をモデル地域として選定し、専門家による伴走支援を実施したほか、菊池温泉街関係者等と連携し、温泉街再生に向けた基本構想をとりまとめた。 9 スマートツーリズム基盤創生・活用事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） デジタル広告配信やWebから集まるデータを活用し、より効果的な施策立案へつなげるため、データを事業横断・年度縦断で蓄積し、「見える化」を行うデータ基盤(DMP)を導入した。 10 宿泊事業者燃料高騰等対策支援事業 新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰等の影響を受ける宿泊事業者に対して、コスト削減に資する省エネ・省力化につながる設備やシステム等の導入に係る経費への支援を実施した。（補助件数：529件） 11 国内観光誘致対策事業 県内各地域及び東京・大阪・福岡事務所と連携した観光PRや県内各地域の着地型旅行商品の発掘と磨き上げを行った。 ・着地型旅行商品を観光予約サイト「くまもつと旅行社。」で販売（利用人数：延べ6,356人） ・県外の飲食店等を「くまもつとうまか応援店」に認定し、観光及び県産品情報を発信（東京事務所管内：4店舗、大阪事務所管内：10店舗、福岡事務所管内：3店舗を新たに認定） 12 教育旅行誘致推進事業 教育旅行宿泊者数の回復及び新たな需要の獲得に向けて、新規校に対する宿泊費又はバス費の助成や、学校及び旅行会社に対するセールスを実施した。 ・新規校助成実績：交付校数73校、延べ宿泊者数9,510人（宿泊費：2,000円/人、バス助成：50,000円/台） ・SDGs素材を活用した教育旅行プログラムの紹介動画の制作（球磨村SDGsプログラム、人吉球磨防災学習プログラム、平和学習プログラム） ・教育旅行素材の情報収集及びプログラム造成のアドバイス、学校や旅行会社等のニーズと地元のマッチングを行うワンストップ窓口の設置 13 観光ビジネスチャレンジ支援事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 令和2年7月豪雨災害の被災地域を対象に、新たな観光商品・メニュー開発を行う民間事業者等に対する支援を実施した。（3事業者を支援）	観光費のうち P320 ～ P321

(観光戦略部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
(施策３－④新たな観光スタイルの確立)			14 「くまもと再発見の旅（全国版）」事業 新型コロナウイルス感染症により甚大な影響を受けている宿泊事業者等を支援し、県経済の早期回復を後押しするため、全国を対象に、県内における宿泊・日帰り旅行に対する助成及び県内限定のクーポン券の配布を実施した。(実績：延べ3,052,639人) 15 豪雨被災地域における観光需要回復応援事業 令和２年７月豪雨被災地域の観光による復興を目的に、全国を対象とし、被災地域内における宿泊旅行に対する助成及び被災地域内限定のクーポン券の配布を実施した。 ・実績 旅行割引：69,563人泊272,611千円、クーポン：173,738千円 ・対象期間 令和５年７月７日～11月30日 令和６年１月15日～31日 16 旅するくまモンパスポート事業 本県を訪れた旅行者に、お得に県内を周遊できるLINEを活用したデジタルクーポンを付与し、県内周遊を促進するとともに、ポイント付与キャンペーンを実施した。(お友達登録者数：約24万人、ポイント利用実績185,443千円) 17 インバウンド誘致推進事業 海外旅行会社向けのセミナー、現地旅行会社と県内観光事業者との商談会・ファムトリップの開催、旅行博への出展、現地セールス及びSNSを活用した情報発信等を実施した。 ・香港現地で観光セミナーを開催し、約200人が参加 ・台湾旅行会社51社と県内観光事業者17団体による台北現地での商談会を開催 ・台湾、香港、東南アジア諸国における旅行博への出展 ・5言語の公式SNS（フォロワー計19.4万人）により県内情報を発信 18 台湾インバウンド誘客強化事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 台湾現地に観光レップ（現地代理人）を設置したほか、台湾からの教育旅行の円滑な受入れのための相談窓口を設置した。また、県内で2泊以上宿泊する旅行商品を造成し、実際に送客した旅行会社等33社に対する支援を実施し、17,735人の送客につなげた。 19 インバウンド地域戦略策定事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 台湾の半導体企業TSMC等の県内進出を踏まえ、インバウンド市場と受入地との双方にミスマッチのない本県独自の「ポストコロナインバウンド地域戦略」を策定した。 20 新たな旅のスタイル促進事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 県北・県南地域において、ワーケーションモデルプランを作成し、県内外の企業を対象としたモニターツアーを3回実施した。(5社10人が参加)。参加者の意見を踏まえ、県北・県南地域のモデルコースを掲載した企業向けのセールスツールを作成した。	観光費のうち P320 ～ P321

(観光戦略部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
(施策3－④新たな観光スタイルの確立)			21 クルーズ船誘致促進事業 県内港PRのため、国内外のクルーズ船社等へ知事のトップセールスを含め18回の訪問セールスと、海外の展示会等に4回出展した。また、船社のキーパーソン向けファムツアーを8回実施するとともに、ファムツアー等を通じて、フランスの富裕層向けクルーズ船社ポナン社の天草地域（崎津港、前島港）寄港の具体的な観光プラン策定を支援し、令和6年春の各港（崎津港、前島港）3回の寄港予約を実現した。 22 クルーズ船受入体制強化事業 くまモンポート八代完成後、令和5年4月に初めて国際クルーズ船が寄港し、地元協議会と連携して、初寄港セレモニー8回の開催を含め、計15回（国内船3回、国際船12回）のクルーズ船の受入対応を実施した。また、令和5年9月には、ロイヤル・カリビアン社のクルーズ船寄港に伴う完成式典に合わせてドローンと花火による出港時イベントを開催するなど、くまモンポート八代の利用開始を祝し、クルーズ船受入環境の充実のPRを実施した。 23 県産農林水産物等輸出推進総合支援事業（再掲）（P74に記載） 24 海外輸出拡大対策事業（再掲）（P74に記載） 25 マーケット拡大支援事業 6社の県内事業者に対し農商工連携による新商品の開発やテストマーケティング、商談会等へ出展する際の経費等の一部の支援を実施した。 26 県産品販路開拓事業 県産品の販路開拓・拡大を図るため、各地域の特産品等を一堂に集めたくまもと物産フェアの開催や、大阪圏販路拡大専門スタッフを配置した。 ・くまもと物産フェア：リアル（参加企業数：94社、来場者数：58,450人） オンライン（出品数：91商品） ・大阪圏販路拡大専門スタッフの配置：関西圏物産展出演等15回 27 eコマースの強化による雇用創出事業 ウィズコロナに対応した販路の多角化と雇用創出を目指すため、コロナ禍による深刻な打撃を受けた小規模事業者へIT専門家を派遣し、ホームページやECサイトの開設等、eコマースの導入を支援した。（支援件数：178件、新規雇用者数：6人）	観光費のうち P320 ～ P321 農業総務費のうち P238 ～ P239 商業総務費のうち P302 ～ P303

(観光戦略部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
(施策3－④新たな観光スタイルの確立)			28 首都圏等県産品販路拡大事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 都市圏百貨店等でのフェア、首都圏アンテナショップを軸とした県産品の販路拡大のための取組みを実施した。 ・大阪梅田エリア、東京銀座エリア、福岡天神の商業施設等を中心とした熊本フェアを実施 ・アンテナショップの機能を活用した百貨店等催事への出展（63回） ・県産品事業者の県内外催事の新規出展支援 ・県内外の百貨店バイヤーの県産品事業者への紹介、福岡空港売店内の県産品販売箇所の新規契約を実施 29 物産振興事業 熊本県物産館において、県産品のPRやマーケティングの場を提供するとともに、百貨店・量販店のバイヤーへ情報発信を行い、県産品製造業者の商品力向上や販路開拓を図った。	商業総務費のうち P302 ～ P303
3 熊本地震からの創造的復興 【施策2】創造的復興の推進 施策2－②くまもとの誇りの回復と宝の継承	479,151	459,855	1 熊本地震震災ミュージアム具体化推進事業 令和5年7月に熊本地震震災ミュージアム「K I O K U」を開館し、令和5年度末までに約4万5千人が来館した。 また、開館に係る情報発信として、施設内覧会の実施、新聞広告の掲載等を行うとともに、施設の活用促進事業としてイベント開催経費の助成を実施した。 2 熊本地震震災ミュージアム中核拠点整備事業 熊本地震震災ミュージアム中核拠点施設（旧東海大学阿蘇キャンパス）の整備に関し、中核拠点施設内の既存建屋（1棟）の解体工事等を行った。 3 『ONE PIECE』連携復興応援事業 麦わらの一味が各地域を紹介する観光PR動画の配信や公式周遊ガイドブックの制作を行った。 南阿蘇鉄道とのコラボ列車・サニー号トレインの運行を開始するとともに、『ONE PIECE』と連携した清和文楽定期公演等の支援を実施した。 ・サニー号トレイン乗車実績 令和5年7月～令和6年3月末：31,684人 (※サニー号トレイン座席定員56名) ・清和文楽定期公演 令和6年3月30日、31日の初演では約200席が両日満員	観光費のうち P318 ～ P321

(観光戦略部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
4 将来に向けた地方創生の取組み 【施策1】次世代を担う人材の育成 施策1-②グローバル人材の育成	47,877	42,211	1 若者のアウトバウンド推進事業 学生へのパスポート新規取得助成や、海外への修学旅行に対する助成を実施した。 ・令和5年度実績：131件（パスポート取得助成）、1件（修学旅行事前視察助成） 2 令和5年度姉妹友好提携周年記念事業 中国・広西壮族自治区や韓国・忠清南道へ知事をトップとする県訪問団の派遣や、韓国・忠清南道の道知事をトップとする訪問団の受入れを実施した。 3 在外県人会周年記念式典参加事業 南米の在外県人会周年記念式典に副知事をトップとする県訪問団が参加した。 4 姉妹友好交流事業 フランス・ディジョンメトロポールとの国際交流促進覚書（MOU）を締結した。	諸費のうち P137 ～ P138
【施策3】安全・安心な社会の実現 施策3-③一人ひとりが尊重され、自分らしく暮らせる社会の創造	66,829	53,661	1 熊本県多文化共生支援事業 多言語に対応した「熊本県外国人サポートセンター」を運営し、705件の相談対応を行うとともに、令和5年8月に新たに台湾相談ホットラインを開設した。また、地域日本語教室を新たに設置した3市町村への支援、外国人受入連絡協議会を新たに設置した1市への支援を行った。 2 国際交流・多文化共生推進事業 県内在住外国人向け周遊モニターツアー（6コースを計12回催行。延べ136人が参加）、台湾祭など多文化共生のための交流イベント等の実施を支援した。	諸費のうち P137 ～ P138
【施策4】魅力ある地域づくり 施策4-②持続可能な地域づくり	254,397	252,008	1 広域的な観光地域づくり支援事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 観光地域づくり団体（DMO）の活力を最大限に生かし、広域的な観光地域づくりの継続的展開を支援するための補助事業を実施した。 2 くまもとで乾杯！県産酒推進事業 熊本酒造組合が実施した、若い世代を対象とした販促アイディアコンテストへの支援や、くまもとの県産酒の魅力を発信するテレビ番組による情報発信を実施した。 ・番組放送3回（BS-TBS）、コンテスト参加者6大学12チーム	観光費のうち P321 商業総務費のうち P302 ～ P303

(観光戦略部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
(施策４－②持続可能な地域づくり)			3 球磨焼酎リブランディング事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 令和２年７月の豪雨災害により被害を受けた蔵元が、球磨焼酎を持続可能な地域産品として復興するため、球磨焼酎酒造組合等の関係団体と連携した取組みを実施した。 ・蔵元との連携 球磨焼酎案内人養成講座テキストの英語版作成、県産酒の定額サービス「KUMAPASS」普及促進に向けた情報発信 ・誘客促進 球磨焼酎販売促進イベント（14回）、球磨焼酎紹介パンフレットの多言語化、台湾向けファムツアーの実施 ・蔵元への補助 商品開発やコンペティションへの出展に係る補助：10社 4 伝統的工芸品販路開拓支援事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 顧客ニーズ等を取り入れた新商品開発（５事業者）や専門家による経営アドバイス（６事業者）、学生等によるインターンシップツアー（参加事業者：２事業者、参加者：12名、事業内定者：２名）を実施した。 5 くまもと県産品消費喚起緊急支援事業 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、需要が減少している県産酒の消費を促すため、県内の酒販店において「くまもと県産酒消費拡大緊急キャンペーン」を開催した。 ・参加店舗数 約 360 店舗、応募件数 約 128,000 件	商業総務費のうち P302 ～ P303
施策４－③スポーツ・文化による地域活性化	333,448	331,638	1 プロスポーツによる地域活性化事業 県内プロスポーツ３チーム（ロアッソ熊本・熊本ヴォルターズ・火の国サラマンドーズ）において、ファン獲得のためのホーム試合無料招待、アウェー試合での熊本PR等を行った。 また、ロアッソ熊本の選手が指導するサッカー教室などの県民との交流イベントを実施することにより、子どもたちの夢づくりを促進し、地域活性化を図った。 2 国際バドミントン大会誘致促進事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 熊本県と熊本市が連携して、令和５年１１月に県立総合体育館でバドミントン国際大会「熊本マスタースジャパン」を開催した。トップクラスの選手が国内外から 270 人以上参加し（関係者を含めると約 500 人）、約 18,400 人が観戦した。 3 ツール・ド・九州受入環境整備事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 令和５年 10 月 6 日～ 9 日に福岡県、熊本県、大分県を舞台に「マイナビ ツール・ド・九州 2023」を開催した。８日の熊本阿蘇ステージでは、コース沿線や熊本市内で開催したパブリックビューイングにおいて約 22,000 人が観戦した。 4 アーバンスポーツ展開事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 令和６年２月 24 日、25 日に、ＪＲ熊本駅前の「アミュひろば」で、アーバンスポーツイベントを開催し、約 13,000 人の誘客を行った。	観光費のうち P320 ～ P321